

# kaise

## メモリーバックアップ

### KG-150

808 バッテリークリップ変換ケーブル付属 (KG-150N)

### 取扱説明書 (保証書付)

### カイセ株式会社

このたびは、メモリーバックアップKG-150をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

#### はじめに

- 本製品を使用して、万一車両メモリーや接続機器のメモリーが消去されてしまっても、弊社では補償できません。
- 本製品と車両および接続機器との組み合わせに起因する誤動作などで、万一損害が生じても弊社では補償できません。
- 本製品の仕様や外観、本取扱説明書の記載内容は、予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書記載内容の無断転載を禁じます。

#### 安全上・使用上のご注意 (必ずお守りください)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

#### 警告/注意

- バックアップ出力中は車両の電装品をONにしない。
- 小さいお子様や、ペットなどの動物が届かない場所で使用、保管する。
- 使用後は必ず、ケーブルを抜いて保管する。
- 本製品を持ち運ぶときや保管時は、本体側面のダストカバーをしっかりと閉じ、端子部を保護する。
- DCプラグやUSBコネクタは根元まで確実に差し込む。
- 本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する。
- 本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない。万一皮膚に付着または目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の診察を受ける。
- 万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消火する。
- 本体やケーブルをぬらしたり、ぬれた手で使用しない。
- 風呂場やプール、海など水没の危険がある場所では使用しない。
- ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険箇所指定されている場所では使用しない。
- 可燃物や重いものを乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器などに使用しない。
- 本製品を接続した状態で車両のエンジンを始動しない。
- 暗い場所で作業を行わない。
- スイッチが操作できないなどの故障の状態で使用しない。
- 端子類を指で触れたり異物を入れない。
- 直射日光が当たる場所や、夏季の車両内など気温45℃を超える環境および湿度70%を超える環境で保管しない。
- 分解や改造はしない。
- ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない。
- 加熱したり、火や水の中に入れて、ストーブなど熱源に近づけない。
- 付属品のコード類を束ねたまま使用しない。
- 付属品以外のケーブルを使用しない。
- 本製品付属品を本製品以外に使用しない。
- 本体・付属ケーブルを落下させたり、衝撃を与えない。
- 使用時および充電時に、たばこなど火気を近づけたり付近に可燃物を置かない。
- 可燃性の気体や液体のある場所で使用しない。

#### 警告/注意

- 端子の両極性を金属で接続しない。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 本製品の出力端子同士や本製品の出力端子と他製品の出力端子を接続しない。
- 電子レンジや高圧容器に入れない。
- 本製品を取扱説明書記載の使用以外の方法で使わない。
- USB出力による充電終了後、本体と被充電機器との接続をすみやかに解除する。
- 本体の充電は、当社指定条件のUSBケーブルを使用し、当社指定の充電条件を守る。
- USB ACアダプター以外 (PCのUSBポートなど) で充電をしない。
- 本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外す。
- 本体の充電は温度が0~40℃の環境で行う。
- 本体の充電時間を過ぎてても充電が完了しない場合は充電を中止する。
- 満充電の状態での充電をしない。
- 屋外や水で濡れる恐れのあるところで充電をしない。
- 本体の充電をしながら本製品を使用しない。

#### ■使用上のご注意

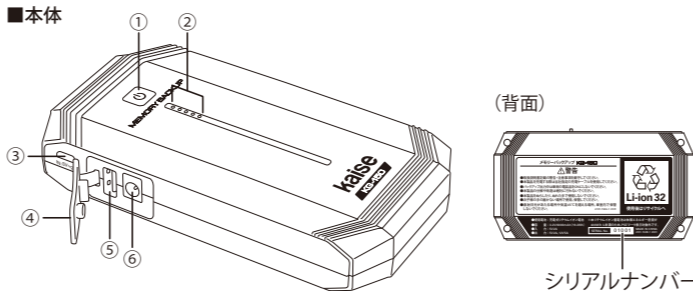
- アルコールを含む液体で本製品をふかない。
- 気温-10℃~45℃の環境、本体温度0℃~45℃で使用する。
- 高い電磁環境に近づけない。
- 完全放電すると充電ができなくなることがあるため、長期間使用しない場合は3ヶ月ごとに充電を行う。
- 本体内蔵バッテリーは使用方法や保管方法によっては、著しく劣化する場合があるため、劣化による不具合は、保障の対象外。
- ホコリの多い場所、水のかかるところ、強い衝撃が加わるところ、気温-10℃以下45℃以上・湿度70%以上のところ、結露のあるところ、直射日光のあたるところでは保管しない。
- 本体内蔵リチウムイオンバッテリーの廃棄は、自治体の条例に従って廃棄処分する。
- OBDIIコネクタに電源が無い車両やOBDII接続によるバックアップが禁止されている車両では、808バッテリークリップ変換ケーブルを使用して、バッテリーターミナル接続によるバックアップを行う。
- 本製品を低温で使用する場合、リチウムイオン電池の特性で放電容量が低下します。
- 電源ONから約12時間経過すると、オートパワーオフ機能が働き電源OFFになります。

#### 構成部品一覧表 (ご使用前にご確認ください)

本製品には、下記のものと同梱されています。ご使用前にご確認ください。万一不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

- |                  |    |                        |     |
|------------------|----|------------------------|-----|
| ①本体              | 1台 | ④バッテリークリップ変換ケーブル (808) | 1本  |
| ②OBDIIケーブル (806) | 1本 | ⑤本体充電用USBケーブル (913)    | 1本  |
| ③シガーソケット (807)   | 1本 | ⑥取扱説明書・警告カード           | 各1枚 |

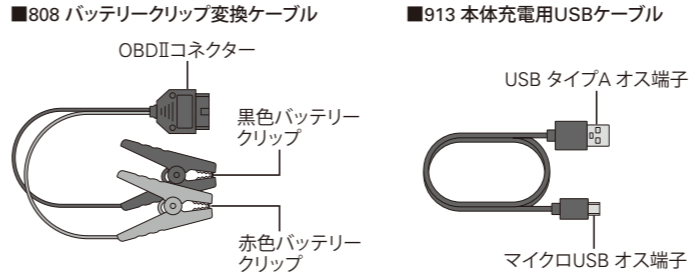
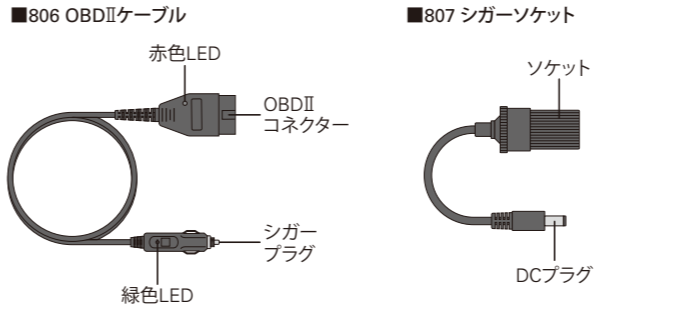
#### 本体・付属品各部の名称と動き



- ①電源キー：  
●このキーを長押しすると電源がONになります。  
●電源ON時にこのキーを長押しすると電源がOFFになります。
- ②残量インジケター：  
●電源ON時に点灯し、5個のLEDの点灯状態で、本体バッテリー電圧を基に、おおよその充電残量を示します。(充電残量の数値はあくまでも目安です)

● ● ● ● ●	全点灯 (約100%~81%)
● ● ● ● ○	4つ点灯 (約80%~61%)
● ● ● ○ ○	3つ点灯 (約60%~41%)
● ● ○ ○ ○	2つ点灯 (約40%~21%)
● ○ ○ ○ ○	1つ点灯 (約20%~1%)
⦿ ○ ○ ○ ○	1つ点滅 (過放電保護が働いて出力を遮断)
○ ○ ○ ○ ○	全消灯 (電源OFF)

- ③本体充電用USB端子：  
●本体を充電をする際に付属の 913 本体充電用USBケーブルを接続します。
- ④ダストカバー：  
●⑤と⑥の端子使用時に、このカバーを開きます。  
●持ち運ぶときや保管時は、このカバーが端子部を保護しますので、必ず閉じてください。
- ⑤USB出力端子 (DC5V / 2A) (ダストカバー内)：  
●スマートフォンなど被充電機器付属のUSB Aオスプラグを差し込んで充電します。
- ⑥DC12V出力端子 (DC12V / 5A) (ダストカバー内)：  
●車両メモリーのバックアップやDC12V機器の電源として使用する際、この端子にシガーソケットのDCプラグを接続します。



#### 仕様

1. バッテリータイプ	リン酸鉄リチウムイオンバッテリー (18650サイズ/LifePO4)
2. バッテリー容量	6000mAh (3.2V)
3. 出力	USB出力端子: DC5V/2A バックアップ出力端子: DC12V/5A
4. 入力範囲	DC5V/2A (MicroUSB Micro-B 充電用入力端子)
5. バックアップ対応車	12V車
6. 出力端子形状	USB出力端子: USBタイプAメス 12V出力端子: DC2.1メス
7. 入力端子形状	MicroUSB Micro-B
8. 本体充電方法	充電用USB5V電源 (PC不可)
9. 本体充電時間	約3時間 (付属ケーブルおよび2AのUSB ACアダプター使用)
10. 残量インジケター	5つのLEDで7段階表示
11. サイクル寿命 (目安)	約2000回
12. 保護機能	USB 5V2A出力 / 12V5A出力: 過放電、過電流、温度 充電 5V2A入力: 過充電、温度
13. 使用温度	0~45℃ (本体)、-10~45℃ (環境)
14. 充電時温度	0~40℃
15. 保存温湿度	-10~45℃、70%rh以下 (ただし結露のないこと)
16. 寸法・質量	約150mm (H) × 約80mm (W) × 約24.5mm (D)、約280g
17. 付属品	806 OBDIIケーブル、808バッテリークリップ変換ケーブル、807シガーソケット、913 本体充電用USBケーブル、取扱説明書 (保証書付)、警告カード
18. 別売付属品	1030キャリングケース

#### 使用方法

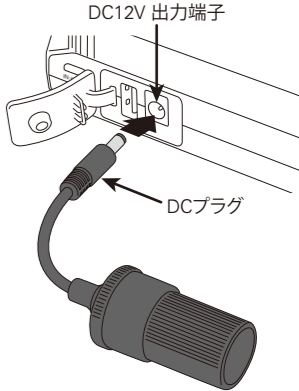
##### 1. バックアップ電源

#### 警告/注意

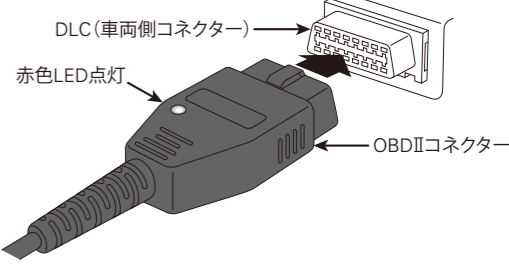
- 「安全上・使用上のご注意」の警告・注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。
- 24V車両のバックアップはできませんので使用しないでください。使用すると故障、発火の原因になります。
- バックアップ出力中は車両の電装品をONにしないでください。806 OBDIIケーブルのヒューズ切れや、コネクタ一部が高温になり溶ける恐れがあります。
- バックアップ出力中に、車両の電装品をONにするなどして大きな電流が流れた場合、過電流保護によりバックアップ出力が停止してしまったり、本体バッテリーの電圧降下で残量インジケターが急激に少なくなる場合があります。(本製品の仕様上、充電を行うまで残量インジケターの状態を記憶します。そのため大きな電流が流れた場合は、残量インジケターが急激に少なくなる現象が発生します。)
- 車両から 806 OBDIIケーブルを外す際は、コネクタ一部が高温になっている恐れがあるためご注意ください。
- OBDIIバックアップが禁止されている車両では、OBDIIバックアップは行わずに、バッテリーターミナル接続でバックアップしてください。車両や本体の故障、発火の原因になります。
- バッテリーターミナルに接続する際、逆接続 (バッテリーの⊕と⊖の極性を逆に接続) や短絡は、絶対にしないように注意してください。けがや故障、発火の原因になります。
- バッテリーターミナル接続によるバックアップ中、バッテリークリップとバッテリーターミナルの接続、およびOBDIIケーブルとの接続が外れないようにご注意ください。

##### 1-1. OBDII接続によるバックアップ

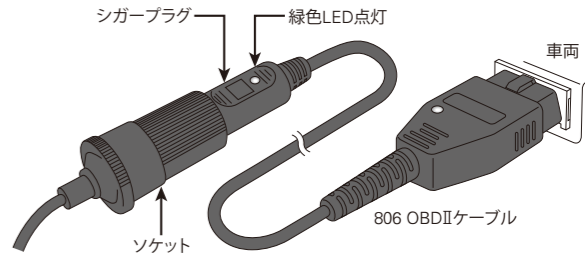
- ①車両のキーを抜いて、ライト類 (室内灯含む) を全てOFFにします。
- ②電源キーを長押しして残量インジケターの点灯を確認します。電池残量が少ない場合は本体を充電してください。
- ③本体のダストカバーを開いて、DC12V出力端子に 807 シガーソケットのDCプラグを差し込みます。



④806 OBDIIケーブルのOBDIIコネクタを、車両のDLC (車両側コネクタ) にしっかりと差し込みます。



- ⑤OBDIIコネクタの赤色LEDが点灯したことを確認します。赤色LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。  
※赤色LEDが点灯しない場合は、DLC (車両側コネクタ) に電源が無いことが原因と考えられます。この場合は、808 バッテリークリップ変換ケーブルで、バッテリーターミナル接続によるバックアップを行ってください。
- ⑥807シガーソケットのソケットに 806 OBDIIケーブルのシガープラグを差し込みます。  
※接続部が抜けないように安定した所に置いてください。



- ⑦シガープラグの緑色LEDが点灯したことを確認します。緑色LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。  
※緑色LEDが点灯しない場合は、シガーソケットとOBDIIケーブルの接続および本体バッテリーの残量を確認してください。問題が無い場合はシガープラグ内部のヒューズが切れている可能性があります。
- ⑧バッテリー交換の前 (バッテリーターミナルを外す前) に、車両のドアを全て閉めてキーロックを行ってください。  
※車両のドアを開くと、ドアランプやルームランプが点灯して、OBDIIケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ⑨バッテリー交換などの作業を行います。終了したら電源キーを長押しして、残量インジケターの消灯 (DC12V出力OFF) を確認後、本体と車両の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

## 品質保証書

MODEL KG-150N	Serial No.
品質保証期間 購入日 年 月 日から 1 カ年	
販売代理店および所在地	
印	

※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障などが生じた場合は、裏面記載の品質保証規定により無償で修理します。製品にこの品質保証書を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社 製造サービス課へご送付ください。  
※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。

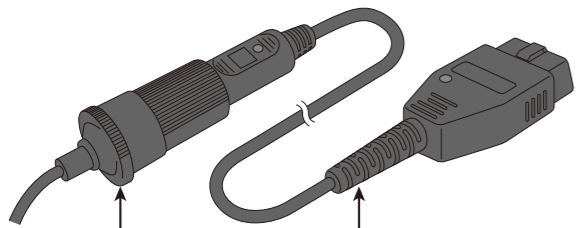
### カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422 電話 0268-35-1600 (代表)

- ※バックアップ中に車両のドアを開いたり、ブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したりしないでください。OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ※車両バッテリーが過放電している場合、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ※806 OBDⅡケーブルは、250V 5Aヒューズが内蔵されています。ヒューズ切れの場合は、同仕様のヒューズと交換してください。仕様の異なるヒューズの使用は絶対にしていません。(806 OBDⅡケーブルのヒューズ交換を参照)
- ※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。
- ※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。
- ※車両によってはDLC(車両側コネクタ)から電源を供給できず、バックアップ動作を行うことができない場合があります。

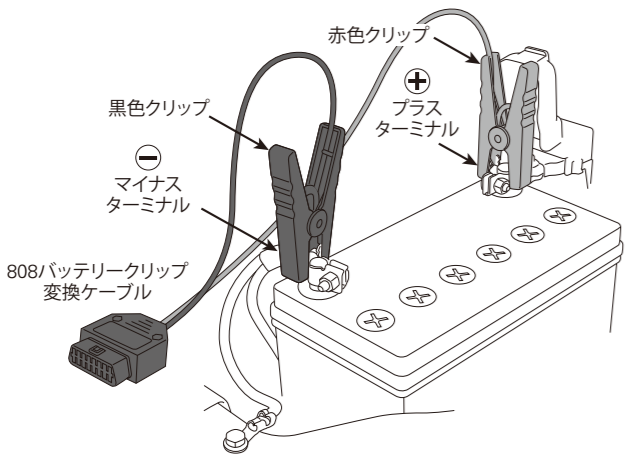
### 1-2. バッテリーターミナル接続によるバックアップ

- ①車両のキーを抜いて、ライト類(室内灯含む)を全てOFFにします。
- ②あらかじめ車両バッテリーのステアを外し、バッテリーターミナルのボルトをゆるめておきます。
- ③電源キーを押して残量インジケータの点灯を確認します。電池残量が少ない場合は本体を充電してください。
- ④806 OBDⅡケーブルと807 シガーソケットを接続します。



- ⑤バッテリーの極性に注意して、808バッテリークリップ変換ケーブルの赤色クリップを⊕ターミナル端子に、黒色クリップを⊖ターミナル端子に接続します。外れないようにしっかりとクリップしてください。

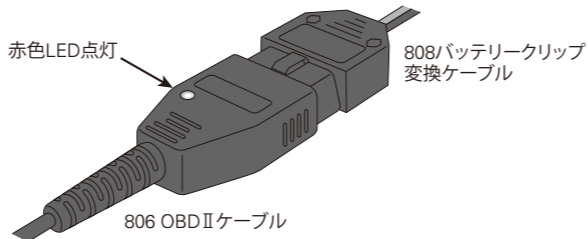
**警告** ⊕と⊖を逆に接続してしまっているとショート of の恐れがあります。逆接続でないか再度確認してください。



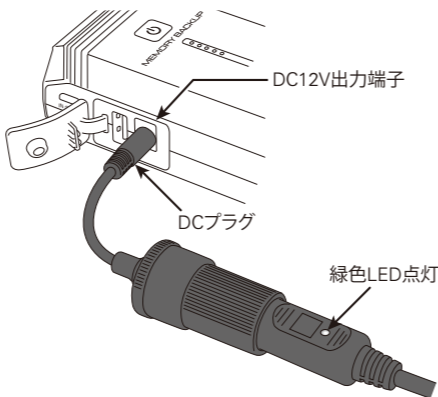
- ⑥808バッテリークリップ変換ケーブルと、806OBDⅡケーブルのOBDⅡコネクタ同士を接続します。

**警告** 本体接続側の端子部(807シガーソケットのDCプラグ)が、車両のボディや金属部に接触しないように注意してください。

- ⑦806 OBDⅡケーブルのコネクタの赤色LEDが点灯したことを確認します。
- ※点灯しない場合は、車両バッテリーの電圧が著しく低下している、またはターミナル端子の接触不良や逆接続の可能性が有ります。
- ※接触不良で赤色LEDが点滅している、または点灯しない場合は、各接続を一旦解除して、ワイヤブラシなどでバッテリーのターミナル端子を清掃してから、再度接続してください。(別売付属品:690ワイヤブラシ)
- ※電圧が著しく低下したバッテリーのバックアップは行えません。



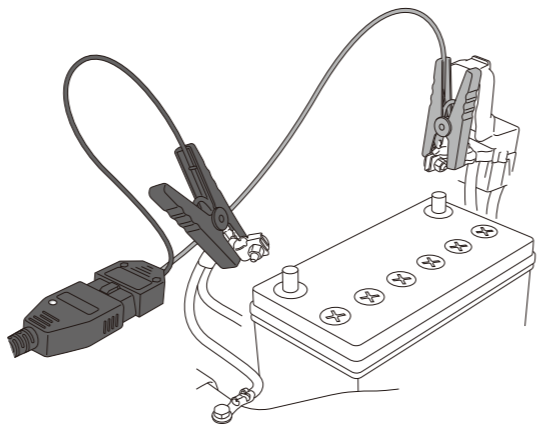
- ⑧本体のダストカバーを開いて、DC12V出力端子に 807 シガーソケットのDCプラグを差し込みます。
- ※各接続部が外れないように、安定した場所に置いてください。
- ⑨シガープラグの緑色LEDが点灯したことを確認します。LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。
- ※LEDが点灯しない場合は、シガーソケットとOBDⅡケーブルの接続および本体バッテリーの残量を確認してください。問題が無い場合はシガープラグ内部のヒューズが切れている可能性があります。



- ⑩バッテリー交換の前(バッテリーターミナルを外す前)に、車両のドアを全て閉めてキーロックを行ってください。
- ※車両のドアを開くと、ドアランプやルームランプが点灯して、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ⑪バッテリー交換を行います。バッテリーターミナルを外す際は、バッテリークリップを外れないようにご注意ください。

**警告** バッテリー交換中は、外したバッテリーターミナルが車両のボディや金属部に接触してショートさせないように注意してください。

- ※バックアップ中に車両のドアを開いたり、ブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したりしないでください。OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ※車両バッテリーが過放電している場合、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
- ※ヒューズ切れの場合は、“保守管理 3. 806 OBDⅡケーブルのヒューズ交換”を参照のうえ、同仕様のヒューズと交換してください。仕様の異なるヒューズの使用は絶対にしていません。
- ※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。
- ※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。



- ⑫終了したら本体の電源をOFFにした後、本体とバッテリーターミナルの接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

## 2. USB出力

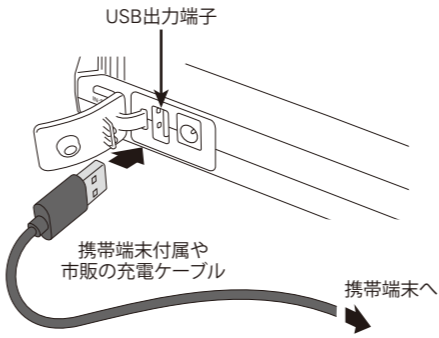
### 警告/注意

- 「安全上・使用上のご注意」の警告・注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

USB 5Vを電源とする直流機器の電源として使用できます。

#### ■使用例(携帯端末の充電)

- ①電源キーを長押しして残量インジケータの点灯を確認します。USB5V出力がONとなります。電池残量が少ない場合は本体を充電してください。
- ②本体のダストカバーを開いて、携帯端末付属または市販の充電ケーブルを本体のUSB出力端子に差し込み、本体と携帯端末を接続すると充電が開始します。



- ③充電終了後、電源キーを長押しして残量インジケータの消灯(USB5V出力OFF)を確認後、本体と携帯端末の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

**接続しても充電が開始されない場合**  
接続しても充電が開始されない場合は、端子部分に接触不良が無いか確認してください。端子部分に接触不良が無い場合は、出力電流が仕様を超えている可能性があります。

- ※完全に電池を消費して、電源が入らなくなった状態の機器には使用できない場合があります。
- ※使用する機器によっては充電できない場合があります。
- ※使用する機器によっては満充電にならない場合があります。
- ※携帯端末の画面にエラーが表示された場合は、ただちに使用を中止してください。

## 3. 直流機器のサブ電源(5A以内)

### 警告/注意

- 「安全上・使用上のご注意」の警告・注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。
- 5Aを超える電流が流れると、過電流保護が働いて本体の電源がOFFになります。5Aを超える機器(掃除機、冷蔵庫、ケトル、エアコンプレッサーなど)は使用できません。

- ①電源キーを長押しして残量インジケータの点灯を確認します。電池残量が少ない場合は本体を充電してください。
- ②本体のダストカバーを開いて、DC12V出力端子に 807 シガーソケットのDCプラグを差し込みます。
- ※直流機器側の電源プラグがDC2.1オスプラグ(センターの極性がプラス)であれば、直接本体のDC12V出力端子に接続できます。
- ③807 シガーソケットのソケットに直流機器を接続して使用します。
- ④使用後は電源キーを長押しして、残量インジケータの消灯(DC12V出力OFF)を確認後、本体と直流機器の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

## 保守管理

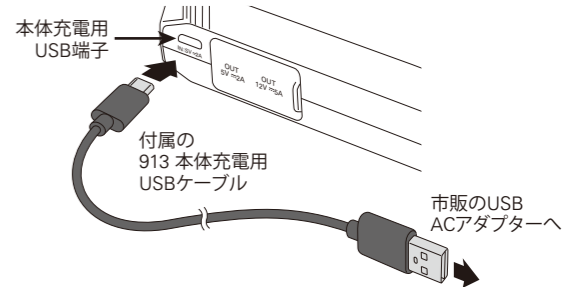
### 1. 本体の充電

### 警告/注意

- 「安全上・使用上のご注意」の警告・注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。
- 本体の充電は、充電終了を確認後(全LED消灯後)に充電用USBケーブルを抜くようにしてください。5つ目のLEDが点滅状態で抜いてしまうと、充電が十分ではない場合があります。
- USB ACアダプター以外(PCのUSBポートなど)では充電できません。

バッテリー残量が減った場合は次の手順で本体を充電してください。

- ①本体充電用USB端子に付属の 913 本体充電用USBケーブルの端子を差し込みます。
- ②もう一方の端子を市販のUSB ACアダプターに差し込みます。
- ③USB ACアダプターをコンセントに差し込みます。充電が開始され、残量インジケータが点滅します。
- ④充電が終了すると残量インジケータが消灯します。
- ⑤充電終了後は、本体と 913 本体充電用USBケーブルおよびコンセントの接続を解除してください。



## 2. 保管方法

### 警告/注意

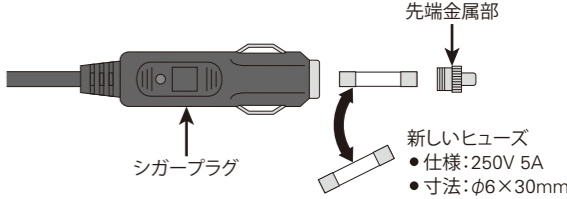
- 「安全上・使用上のご注意」の警告・注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

本体バッテリーを長持ちさせる長期保管の方法

- 放電状態での長期保管はバッテリーの劣化に繋がるため、3ヶ月に1回程度の充電を行ってください。
- 長期保管時の充電は充電完了まで充電せず、残量インジケータが3~4つ点灯の状態を保つと、本体バッテリーの劣化を最小限に抑えることができます。
- 直射日光を避け、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

## 3. 806 OBDⅡケーブルのヒューズ交換

- ①シガープラグ先端の金属部を反時計回転に回して外し、内部のヒューズを取り出します。
- ②ヒューズ内の線が切れている場合は新しいヒューズと交換します。下記を参照し、必ず同仕様、同寸法のヒューズと交換してください。



## 故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店またはカイセ株式会社にお問い合わせください。

症状	原因と処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。→ 本体の充電を行ってください。</li> <li>●電源キーを長押ししていない。→ 電源キーを1.5秒以上長押ししてください。</li> </ul>
OBDⅡコネクタのLEDが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DLC(車両側コネクタ)に電源が無い。→ 808 バッテリークリップ変換ケーブルを使用してください。</li> </ul>
シガープラグのLEDが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シガープラグのヒューズが切れている。→ 上記を参照してヒューズを交換してください。</li> </ul>
直流機器が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5Aを超える電流が流れて過電流保護が働いている。→ その直流機器は使用できません。</li> </ul>
残量インジケータが3つ点滅して動作停止後電源がOFFになった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体が高温になり、温度保護が働いている。→ 冷暗所にしばらく置いて本体温度を下げた後、環境温度以下で使用してください。</li> </ul>

■製品の使い方や修理に関するお問い合わせ、修理品の送付先

## カイセ株式会社

製造サービス課  
〒386-0156 長野県上田市林之郷422  
TEL 0268-35-1602 / FAX 0268-35-5515  
Email : service@kaise.com

本製品のリチウムイオン蓄電池は、体積エネルギー密度が400Wh/l未満のため、PSEマーク表示対象外です。

## カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422  
TEL 0268-35-1600(代) FAX 0268-35-1603 E-mail service@kaise.com

## 品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合は無償で修理します。ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

### 記

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理または改造に起因する故障。
3. お買い上げ後の輸送または落下などによって生じた故障。
4. 火災、水害、地震など天災地変によって生じた故障・破損。
5. 消耗部品(内蔵電池など)の補充または取り換え。
6. 品質保証書の提出がない場合。
7. その他、当社の責任とみなされない故障。
8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼	年	月	日
故障の症状 故障の原因 (わかったら)			